

大串ひろやす通信

発行責任者 千代田区議会議員 大串ひろやす 〒102-0083 千代田区麹町2丁目14-305 Tel/Fax 03-3221-1554 <http://www5d.biglbe.ne.jp/~ogusi/>

新春号



以下の4点についてご紹介させていただきました。



	コーナー	内 容
1	トップページ	新春街頭演説を行いました 成人の日街頭署名活動に参加しました
2	私の一般質問	行政評価制度の本格実施にあたって
3	ちょっと教えて	赤ちゃん絵本のふれあい“ハローブック”が始まりました
4	お知らせ	「区議会の役割りと使命」と題し勉強会を行います

新春街頭演説で!



1/7 山田永秀議員と四ツ谷駅にて

1月7日山田永秀議員と四ツ谷駅にて公明党新春街頭演説会を行いました。

私は、公明党が昭和36年の結党以来、

一貫して庶民、大衆の側にたって政治を行ってきたこと。そして政権与党となつてからのこの4年間では庶民の目線からの数多くの実績を残すことができました。特に「文化芸術振興基本法」と「子ども読書活動推進法」の制定は、小さいながらも日本の革命と言われる画期的なものになったこと。そしてこのことにより地方においては文化や子どもの読書推進のための政策に実現に結びついたこと。千代田区においてもブックスタートの開始や小学校・中学校の図書館の予算が倍増しとことなどです。今後とも公明党は国と地方が一体となつて庶民のため生活者のための政治に全力で取り組んで参ります、と訴えました。

成人の日街頭署名活動で!



1/12 公明党青年局と弁慶橋にて

1月12日には、成人の日街頭署名を公明党青年局として、弁慶橋にて行いました。

公明党は若い人の声に真摯に耳を傾け政府の政策立案に関与できるようにすること、また本来持っている創造的能力及び批判的思考は社会のリソース(資源)として活用されるべく努力しています。

今回は、若者の雇用対策としてのジョブ・カフェの増設と充実を求める署名を行いました。多くの成人の方やご通行の方々に署名をいただくことができました。本当にありがとうございました。

今回は、若者の雇用対策としてのジョブ・カフェの増設と充実を求める署名を行いました。多くの成人の方やご通行の方々に署名をいただくことができました。本当にありがとうございました。

ジョブ・カフェとは

ハローワーク・地方公共団体・民間事業者・学校などが連携して若年者の就業支援をする施設で、情報提供・コンサルティング・職業紹介などを一体的に行なうセンターのことです。

行政評価制度導入の目的は

税金の使い道を明らかにし 納税者に成果を説明すること

私の一般質問



“子どもにつけまわさない”
とのパッチを着けて

行政評価制度の本格実施にあたって、私は以下の3点について質問を行いました。

行政評価制度導入の目的と基本的な考え方は

どういう評価制度となるのか、その特徴と活用方法は

「成果報告書」を作成すべきではと提案しました

～質問抜粋～

行政評価制度はまさに自治体改革のためのツールでもあり、また政策形成のためでもあり、そして税金の使い道を明らかにし、成果を納税者の皆様に説明するためのものでもあると私は考えます。そこで今回の行政評価制度についてその導入の目的と基本的な考え方について改めてお伺いいたします。

そしてどういう評価制度になるのか、その特徴と活用方法についてもお伺いします。

～区長答弁抜粋～

行政評価という仕組みを入れておりますが、内容的には事務事業の評価と組織経営評価であります。（中略）この2つの目的は、やはり達

成状況を評価するということですので、お話のようにいわゆるPDCAサイクルというものを構築するわけでございます。いわゆるPDCAというのは、評価の結果を予算や計画に反映し最終的には職員の意識改革というものにつなげていくというねらいもございまして、お話のように政策のツールとして十分に機能させていくことが肝要だろうと思います。こうした結果については、できるだけわかりやすくというのはこれは当然のことございまして、これからも鋭意そうした努力をしていきたいと思っております。（中略）

約3年間、そうした観点でいろいろ区政の中身をつまびらかにしていくという形で努力をしてまいりまして、お話のようにコスト一覧等もつくりましたし、今年度の公表にあたりましては、原価償却という仕組みも導入してコスト一覧を出したわけでございます。これも税金というものがどう使われているかということ、一つひとつ区民の皆様方に明らかにして、そして評価をしていただきたいという思いでございます。

税金への関心度とその内容

東京都の行った「都民生活に関する世論調査」の結果が発表されましたが、その中で税金への関心度とその内容を聞いています。関心があると答えた人の割合は昨年同様84%にも上っていました。またその関心の内容は（こちらは複数回答ですが）税金の使われ方がトップで75.1%、次が自分の納める税金で48.9%という結果でした。いかに税金の使い道に都民の関心が高いかがこの結果からもわかります。（平成15年11月25日発表の世論調査より）

税金の無駄使いをなくすこと

評価制度の特徴と活用方法は

～政策担当部長答弁全文～

まず各予算事業についての事務事業評価についてでございますが、昨年度の試行結果をもとに今回は1事業1枚の用紙を用いる簡便な方法で評価を実施しております。各事業の成果指標に対する達成度と要した費用に対する単位当たりのコストを天気マークを使いまして評価し、それを基本に事業全体を5分類で総合的に評価するという方法でございます。

次に活用方法についてでございますが、評価結果は区民の皆様公表し、ご意見を求めるとともに、庁内では評価の改善等の方向につきましては、16年度の予算編成で検討するほか、検討に時間を要するものにつきましては、推進プログラムの改定等の中で整理してまいります。

一方、組織経営評価、いわゆるバランス・スコアカードは、事業部制による成果指標の目標管理の仕組みとして導入し、本年度は下半期を対象に実施しているところでございます。顧客、財務など4つの視点から各事業部が組織目標を区長との約束のもとに設定し、達成実績を年度末に点数で評価するというものでございます。これによりまして各事業部の目標達成は、職員の育成や財務状況も考慮した上で、戦略や達成手段から検討され、区長から職員まで理解を共有して遂行されることとなります。このようにバランス・スコアカードは組織の経営や庁内のコミュニケーション手段として有効に活用できるものと考えてございます。

バランスシートと成果報告書の関係は

成果報告書とバランスシートの関係を例えて言いますと、「子どもにつけをまわさない」を目標地とすれば、現在どの辺にいるのかを示したのがバランスシートで目標地までどのように進んでいくのかを示したのが成果報告書となります。

成果報告書の作成を提案

～質問抜粋～

この成果報告書とは行政サービスの成果の説明とともにその実現のために要した費用の内訳、例えば人件費や事業運営費などです。さらに利用者負担や補助金などの財源の内訳をも示し、結果、納税者の負担まで明らかにしていこうとするものです。（中略）そこで提案ですが、主要施策については成果報告書を作成してはどうでしょうか。

主権者である区民の皆様が合理的な意思決定を行うためにわかりやすい情報となることは間違いありません。ご所見をお伺いします。

～区長答弁抜粋～

今後、決算の主要成果については、お話のように成果報告書的なことも、事項によっては盛り込めるものについては、そうしたことも来年度については準備してまいりたいと思います。これもどういうふうにお金が使われているか、人件費がどうなっているのか、運営費がどうなっているのかということ鮮明にしていく、こういうことをきちんと明らかにして、区民の皆様方が一つひとつの事業について、区民の目線でもって評価をしていただきたいという観点でございますので、今後、お話の点も十分に踏まえてこうした行政評価システムをさらに進めてまいりたいと考えているところでございます。



ちょっと教えて



赤ちゃん絵本のふれあい ハローブックが始まりました



H15年12/2 千代田保健所にて

平成14年第4回定例会にて提案した「ブックスタート」が実現しました。

昨年12月2日、ハローブックが千代田保健所にて実施され、25組の受診者が参加されました。

この千代田区版ブックスタートであるハローブックは、乳児健康診査の時に図書館司書の方が赤ちゃんに読み聞かせを行ったり、おすすめの絵本の紹介を紹介するものです。そしてその場でそれらの絵本の貸出も行います。保健所と図書館そして子育て推進課の連携で初めて実現となったものです。(1月は麹町保健所にて15日に実施されました)

本来、ブックスタートとは地域の保健所で行われる0歳児健診の際にすべての赤ちゃんと保護者にメッセージを伝えながら絵本を手渡す運動です。特徴は行政の各機関と地域のボランティアが協働、連携して行うこと。つまりブックスタートの計画、準備、実施、フォローアップ、継続という各段階で、保健所、図書館、子育て推進課そして地域のボランティアを始め、時には保育園や学校とも連携してそのサイクルを回していくことが大きな特徴となっています。赤ちゃんへの絵本を通して保護者、行政、地域の協働による読書推進であり、子育て支援でもあります。

編集後記

私は「子どもにつけをまわさない」と書かれたカンパチを着けています。このバッチは今回の質問に際して税制改革協議会を訪問した折いただいたものですが、議員として“税金の無駄使いをしない”との明確なメッセージをもっと発するべきだとの指摘に私は深く共感を覚え

お知らせ



議会の役割と使命

学び合い塾のご案内
 テーマは
 「議会の役割と使命」
 講師 区議会事務局
 2月4日(水)
 19時~20時半
 麹町区民館にて

学び合い塾も第5回となります。今回は区議会事務局に講師をお願いし、「議会の役割と使命」について話していただくことにしました。

ほりばた塾のメニューとしては「私たちの区議会」となっていますが、あえてテーマは上記の通りとし、参加者とともに考えていきたいと思えます。

地方自治法の改正により地方議会はどのように変わったのか。また変わらねばならないのか。本格化する住民自治の流れの中で議会の役割と責任が改めて問われています。

- 本来、議会には
- 住民を代表する機能
- 予算や条例をチェックする機能
- 政策立案機能
- 行政をチェックする機能

を持っていると言われます。この度は区議会事務局を招き参加者の方々と一緒に考えてみたいと思います。参加申込は大串までご連絡下さい。

Tel 03-3221-1554まで



ました。以後どこに行くにも常にこのバッチを誇りを持って胸に着けています。

URL <http://www5d.biglobe.ne.jp/~ogushi/>

千代田区議会議員 大串ひろやす

Tel/Fax 03-3221-1554